

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 4 4
平成19年9月6日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

デジカメを授業で

デジカメで撮った写真を、授業でワードやパワーポイントに貼り付けることは、よく行われていると思います。

このとき注意したいことは、縦横比や圧縮などですが、授業でデジカメを使う場面は、他にもたくさんあります。

ICT (Information and Communication Technology) の活用では、

- ・大きく見せる
- ・繰り返し見せる

の二つが特に効果的です。この、「大きく見せる」には、デジカメは大変簡単に使うことができます。(もちろん、「繰り返し見せる」でもデジカメは有効です)

テレビに映す

デジカメに付属している黄色いコネクタを、テレビのビデオ入力に接続すれば、テレビ画面を使ってデジカメの映像を見せることができます。デジカメにもよりますが、「再生」のみビデオ出力ができるものと、「撮影」モードもビデオ出力できるものがあります。

再生モードでは、写した写真や動画、撮影モードでは実物投影機(OHC)として使うことができます。動画再生では、音もテレビで流すことができるものがあります。

デジカメの接写モードでは、かなり細かいものまで鮮明に撮ることができますし、OHCとしては、先生の手元などを大きく見せることで、全員に一度に作業を説明することが楽にできます。

大判プリンタで印刷する

デジカメで撮った写真を大判プリンタ(前出)で印刷したものを、子どもたちに見せます。教科書や資料集のページを写真に撮ると、「ココ」とか、「行目」、「図のこの位置」などという指示が通りやすいし、子どもたちに前を向かせることで、表情から、理解しているかどうか、聞いているかどうかなどを判断しやすくなります。

スキャナで取ることも考えられますが、見開きを1枚に納めるには、写真に撮ることが楽な方法です。

デジカメは、フィルムカメラの代替として使うだけでなく、デジカメだからできる効果的な使い方で、是非ご活用ください。